滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合
〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

令和５年 上半期バルブ生産高 調査結果
前年比7.4%増の146億円

令和５年上期（１月～６月）バルブ生産高調査（２３社）の結果がまとまり、生産高は１４６億８２００万円と前年同期比で、１０億１０００万円増（増減率プラス７．４％）となった。

業種別では、水道用弁が４８億８５００万円と前年同期比で、３億６７００万円増（増減率プラス８．１％）となった。

産業用弁は、６４億９０００万円と前年同期比で、５億４１００万円増（増減率プラス９．１％）となり、水道用弁・産業用弁ともに価格改定効果の寄与と、生産高においても堅調だったことが伺える。

船用弁は、２５億７６００万円と前年同期比で、６８００万円増（増減率プラス２．７％）となった。船舶排ガス用バルブの世界的な環境規制対応船の建造増加に伴い、今後も需要拡大が期待されるが、半導体不足や資機材の入荷遅れ、作業員不足による建造の遅れが懸念される。

鋳物素材は、７億３１００万円と前年同期比で、３４００万円増（増減率プラス４．９％）となった。国内外を含め一部低迷もあるが前年度から続き増加傾向にある。

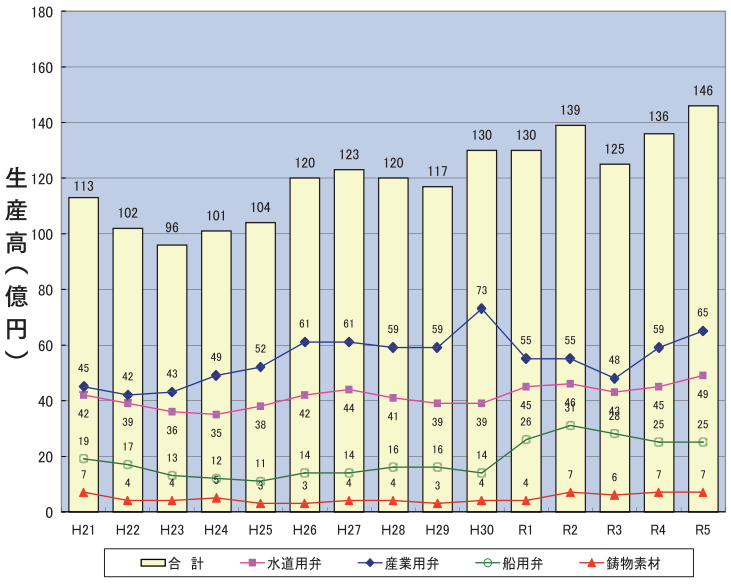
今後の見通しとして、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが５類に引き下げられたことを受け、経済活動回復や渡航なども始まっていることから、徐々に回復していくと予想される一方、原材料市況の影響や人件費等販管費の増加、長期化する円安傾向が採算面において大きな影響を及ぼしており、一層の企業努力が求められている。

2023年 上半期・対前年比較表

（単位：百万円）

種類別	2023年（1～6月）	2022年（1～6月）	増減率（%）
水道用弁	4,885	4,518	8.1
産業用弁	6,490	5,949	9.1
船用弁	2,576	2,508	2.7
鋳物素材	731	697	4.9
合計	14,682	13,672	7.4

彦根バルブの上半期の生産高推移



令和５年度 安全標語 応募総数：634作品 審査結果～優秀作品選出される～

７月１日～７日「全国安全週間」の実施に合わせ、彦根労働基準監督署の協賛を得て会員企業へ安全標語の募集を行いました。

今年度の応募総数は、18社６３４作品となり、改めてバルブ業界の安全に対する意識の高さを痛感致しました。

７月19日（水）に彦根労働基準監督署長・同安全衛生課長、当組合三役により審査会を開催し、次の優秀作品が選ばれました。（敬称略）

一　席　違和感は　手間を惜しまず　再確認
あなたの気づきが　みんなを守る
廣瀬バルブ工業㈱　清水　麻里

二　席　過信・慢心　糧にして
すくすく育つ　危険の芽
日の本辨工業㈱　西村　一利

二　席　目指すゴールは危険ゼロ
進めよう　職場の安全管理
㈱清水合金製作所　田中　靖浩

三　席　最初の点検「今日のため」
最後の点検「明日のため」
確かな点検「我が身のため」
廣瀬バルブ工業㈱　森野　久志

三　席　慢心の隙間に育つ危険の芽
余地を残さず危険予知
㈱清水鐵工所　森田　幸彦

三　席　行動する前ひと呼吸
その一瞬が安全を生む
日の本辨工業㈱　阿部　麻子

佳　作　安全は　全員参加が　スタート地点
清水工業㈱　中嶌　伸吾

佳　作　慌てては、視野が狭まる危険作業
一呼吸、視野を広げて安全作業
角田鉄工㈱　植津　健二

佳　作　お節介　思われようとも
声上げよう　無関心無き　職場環境
宮部鉄工㈱　田中　利明

佳　作　安全点検　再確認
ＡＩよりも　あなたの目
㈱昭和バルブ製作所　安田　陽子

彦根労働基準監督署　署長特別賞
いつもと違うと気付いたら
一歩下がって安全確認
㈱清水鐵工所　薩摩　長一

奨励賞　自分の中の安全意識
日々更新してバージョンアップ
大丸工業㈱　宮部　博之

奨励賞　忘れるな、ヒヤリで済んだあの経験、
いつも心に危険予知
㈱清水合金製作所　藤野　人美

奨励賞　慣れと自己流に　潜む事故
手順守って　安全確保
㈱清水合金製作所　増田　令子

奨励賞　安全職場の構築は、
ハード（仕組み）とソフト（教育）の
両輪で!!
㈱ミヤジマ　綿谷　悠吾

奨励賞　止めるな思考　危険ゼロ
毎日改善　危険ゼロ
松尾バルブ工業㈱　桂巻　嵩史

滋賀県立大学特別講義

7月11日(火)に開催した滋賀県立大学工学部１回生を対象とした特別講義は、143名の出席がありました。

今回は、当組合役員事業所（株)清水合金製作所 取締役技術本部長 川﨑幸一氏が「機械と地場産業」と題し、90分間特別講義をされました。

学生のアンケート集計結果より、彦根バルブ業界の認知度は依然低い状況ではあったが、今回の特別講義にて理解度も大きく高まり、更に、バルブの歴史・バルブの用途＆構造・バルブの製作プロセスに多くの興味をもって頂きました。

新人・若手社員向け研修会

7月14日(金)に開催した「新人・若手社員向け研修会」には、8社25名の参加がありました。

今回も、当組合青年部の協力を得て、東北部工業技術センターの全面的な支援を賜り、盛会裡に開催出来ました。

参加者のアンケート集計結果より、研修受講満足度は、9割を超え、バルブの基礎知識・バルブの構造と用途編について、2時間学習頂きました。

更に、彦根庁舎内施設見学会を終え、各種試験装置への興味も非常に高く予定時間を超え見学頂き、次回は、各種試験装置操作を要望されました。

夏季休業日のご案内

夏季休業期間は、8月14日(月)～16日(水)となりますので、ご了承願います。

停電のお知らせ

東北部工業技術センター彦根庁舎は、電気設備点検により、9月28日(木)午前中は、一斉停電となります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご了承願います。

編　集　後　記

今年で7回目となりました滋賀県立大学工学部１回生を対象とした特別講義「機械と地場産業」は、学生143名・組合関係者15名が特別受講し、あらゆる動画を駆使した講義内容に魅了されました。彦根バルブ歴史、概要等を深く理解頂き、質疑応答では、より専門的な質問があり、学生の興味度の高さを再認識致しました。

新人・若手社員向けバルブ研修会は、東北部工業技術センターの後援・(一社)日本バルブ工業会彦根支部の協賛を得て開催し本年度も熱心に受講頂き、特に、施設見学の興味度が高く、案内頂いたセンター職員への質問も多く、見学予定時間を超過致しました。

今後、今年度企画立案された事業を予定通り実施させて頂きますので、組合各位の更なるご参加・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。